

寄稿

北海道洞爺湖サミット記念
環境総合展2008に寄せて

高橋はるみ (たかはし はるみ)
北海道洞爺湖サミット記念
環境総合展2008実行委員会委員長
北海道知事

1. 北海道洞爺湖サミット

7月7日から「北海道洞爺湖サミット」が開催される。

主要国の首脳が一堂に会し、世界の課題について討議する最も重要な国際会議であるサミットが開催されることは、北海道にとって、大変、名誉なことである。

北海道では、官民一体の推進組織である北海道洞爺湖サミット道民会議を立ち上げ、道民一丸となって、サミットが無事に滞りなく開催されるよう万全を期して受け入れ準備にあたり、世界中から注目されるこの機会を活用し、食、観光、文化をはじめ北海道の魅力を積極的に発信して、北海道のファンを世界中に育て、増やしていこうとさまざまな取り組みを進めている。

2. 環境総合展2008の開催

さて、今年は京都議定書の第1約束期間がスタートする節目の年であり、今回のサミットでは、地球温暖化対策など環境問題が重要なテーマとなっている。

地球は今、深刻な環境問題に直面しており、世界が一つになって早急な対策を実施することが必要である。こうした状況の中、地球の再生を願う道民の皆さんの熱い思いから、サミット開催の直前となる6月19～21日の3日間、札幌ドームを会場として「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」を開催する運びとなった。

今回の環境総合展2008は、地球環境問題に取り組む国内外の企業や環境問題の専門家らがサミットの開催地である北海道に一堂に集い、地球環境問題の解決に向けて、「私たちに何ができるのか」「私たちは何をすべきなのか」「私たちはどこに向かっているのか」を

世界に問い掛ける試みであり、こうした取り組みを通して北海道が未来への扉を開く役割を担うことができると考えている。

環境総合展2008は、「環境産業の最先端技術や最新情報の発信」「環境ビジネスの新たな展開のためのマッチング機会の創出」「次世代のための環境教育に関する魅力あふれる体験機会の創出」「市民の環境に対する意識や取り組みのさらなる促進」「環境センサーアイランド北海道としての世界への貢献」の5つをコンセプトに事業展開していくこととしており、北海道内の産学官が結集して実行委員会を組織し、開催に向けて全力で準備を進めているところである。

(1) 最先端技術

各コンセプトごとにその概略をご紹介しますと、1つ目のコンセプトの「環境産業の最先端技術や最新情報の発信」では、エコイノベーション、エコテクノロジー、エコプロダクツ、エコサービス等の最先端の技術や最新の情報、またその動向などの紹介を行うこととしており、世界でも最新の環境製品、環境技術を中心とした展示を行い、新しいエコライフスタイルを提案したいと考えている。

展示コーナーは、来場者の方々に見やすく、分かりやすくご覧いただけるよう「環境啓発エコライフ」「バイオマス、新エネルギー、省エネルギー」「環境技術、コンサルティング」「廃棄物処理リサイクル」の4つにゾーニングしており、ぜひ、ご覧いただきたいと思う。

(2) ビジネス・マッチング

2つ目のコンセプトの「環境ビジネスの新たな展開のためのマッチング機会の創出」は、環

境ビジネスにおける製品の販売促進、新技術や製品、材料などのビジネスパートナーのマッチングの機会を創出し、環境産業の発展に寄与することをねらいとしている。展示されている技術や製品、さらに環境フォーラムやセミナーなどで紹介された取り組みなどに関心をお持ちの方々と、展示した企業、団体、フォーラム等の参加者が、直接、情報交換できる場を提供する。これにより製品の販売、製品および材料の開発の促進を図り、新たな環境問題への新技術、新製品、新材料の開発に対する取り組みを促し、環境ビジネスの発展につなげていきたいと考えている。

(3) 環境教育

3つ目のコンセプトの「次世代のための環境教育に関する魅力あふれる体験機会の創出」は、未来を担う子供たちに最先端の環境技術に触れる機会を提供し、また、環境問題を考える教材などを通して子供たちが自ら体験することにより、環境問題の解決に向け、自分たちができることを考えるきっかけを与えようとするものである。

エコ・キャンドルづくりやハイブリット車、プラグイン電気自動車といった環境に優しい次世代の車への試乗などを体験、実感していただくほか、環境問題の講談やトークショーなど広く参加しやすいものから、北海道大学などが実施する国際南極大学フォーラムといった専門性の高いものまで、多彩で多様なプログラムを用意している。

(4) 市民の意識

4つ目のコンセプトの「市民の環境に対する意識や取り組みのさらなる促進」では、環境問

題における第一人者の方々による開催記念基調講演、行政、経済界、大学、環境問題に取り組む実践者などによるパネルディスカッション、北海道大学による環オホーツク・国際シンポジウム、廃棄物研究財団によるバイオマス利活用事例報告、また、経済産業省等関係省庁によるフォーラムなど、3日間で30件程度のフォーラムやセミナーを開催し、来場者の環境問題に対する理解をより一層深めていただくこととしている。これにより北海道から、よりよい地球環境をめざした共生のムーブメントを広げていきたいと考えている。

(5) 環境センサーアイランド北海道

最後のコンセプトの「環境センサーアイランド北海道としての世界への貢献」は、北海道が流氷の南限であることや、国内のブナの北限であるといった地域特性を活かし、北海道が誇る自然環境が、地球温暖化の観測に有効な指標となり、北海道が環境センサーアイランドとして地球温暖化防止のため、世界に貢献していくことをシンポジウムやフォーラム、セミナー等を通して世界に発信していこうとするものである。

これら5つのコンセプトに基づいた取り組みすべてを札幌ドームで開催することにより、各々の取り組みが有機的に結びつき、相乗効果をもたらすことで、北海道洞爺湖サミット記念という言葉にふさわしいイベントになると確信している。

(6) 最先端技術等の展示

今回、2月中旬から1ヵ月間行った出展募集に対し、大変多くの企業や団体等にご応募いただき、出展希望コマ数は、当初予定の400コマの2.5倍に当たる1,006コマに達した。

実行委員会としては、応募いただいたすべての皆さまにご出展いただけるよう、急きょ、レイアウトの変更や屋外展示場の新設など、展示スペースの拡大に最大限の努力を払ったところではあるが、当初のご希望にお応えすることができなかった方が多くいらっしゃる。そうした方々にこの場を借りて深くお詫びを申し上げるとともに、出展調整にご理解とご協力をいただいた皆さまにお礼を申し上げます。

3. 北海道からの発信

環境総合展2008の開催は、地球環境問題の分野において、北海道の意識と取り組みを高める大きなきっかけになるものと考えている。

これを機会に道民の皆さま一人ひとりに、北海道の恵まれた自然環境を再認識していただくとともに、地球環境問題を自らのこととしてとらえていただき、ライフスタイルを見直し、環境に優しい生活の実践や自然環境を保全する行動につなげていっていただきたいと考えている。

併せて行政としては、雪氷エネルギーや風力発電など自然エネルギーの利用、さらには、バイオエタノール、バイオディーゼル燃料、木質パレットなどバイオ資源の活用といった北海道の地域特性を活かした環境技術の発展を促し、北海道が地球環境問題の解決に貢献するよう、一層努力してまいりたいと考えている。

「地球環境と調和した地域づくりに取り組む北海道」を発信し、そのうねりが日本中に、そして、世界へと波及し、この美しい地球が、いつまでも美しくあり続ける一助となることを祈念する。

皆さまの「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」へのご来場を心からお待ちしている。